

平成24年度決算に係る
定期監査調書

平成25年6月

西部家畜保健衛生所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7 頁
11	不納欠損額調べ	7 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁
22	事業別予算執行状況調べ	13 頁
23	家畜保健衛生事業	14 頁
○	意見、要望等	15 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係（担当）名	課の主な所掌事務
西部家畜保健衛生所	衛生指導担当	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜保健衛生所法（昭和25年法律第12号）第3条の規定による家畜の伝染病の予防、家畜の試験、検査等に関すること。 ・獣医事に関すること。 ・動物薬事に関すること。
	防疫担当	

4 職員の定員、現員調べ

（平成25年5月31日現在）

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	
定員		0	0	11	11	0	0	10	11	
現員		() 0	() 0	() 10	() 10	() 0	() 0	(2) 11	() 10	産前・産後・育児休業
過不足(△)		0	0	△1	△1	0	0	1	△1	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	1	0	0	0	2	1	事務職 1名 獣医師 1名

5 役付職員の調べ

（平成25年5月31日現在）

職名	氏名	在職期間	備考
所長	西谷公志	3年2月	
次長兼課長補佐	小峯範公	2	出納員
課長補佐	青萩芳幸	2	2

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算(見込)額 3,716千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 1,858千円</p> <p>一般財源 1,858千円</p> <p>その他 0千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 サルモネラ症などの人獣共通伝染病の浸潤状況調査や、動物用医薬品の適正使用の指導、飼料の実態調査・検査等を実施し、安全安心な畜産物の生産を指導するとともに、家畜の疾病の発生・まん延防止を図り、畜産農家の生産性の向上と経営安定を推進する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①流通飼料対策 流通飼料の肉骨粉検査 1カ所1検体 : 1月実施済み</p> <p>②家畜衛生関連情報整備対策 家畜衛生情報の収集 : 臨床獣医師との情報交換(毎月実施)</p> <p>③診断予防技術向上対策 BVD-MDの診断技術を実証するための検査 2戸8頭 : 検査実施済</p> <p>④動物用医薬品危機管理対策 ・動物用医薬品販売業者への立入検査 : 58店舗を対象に実施済 ・農家における薬剤耐性菌発現状況調査 肥育牛2戸、ブロイラー2戸、採卵鶏1戸 : (対象菌種) キャンピロバクター</p> <p>⑤地域衛生管理対策 ・飼養衛生管理基準の確認、指導 : 牛255戸、豚12戸 ・乳房炎 73戸 : 多発農家の検査指導</p> <p>⑥幼畜疾病対策 下痢症及び肺炎対策指導 : 牛5戸、豚5戸</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 畜産現場の現状や要望を勘案し、以下のテーマについて重点的に取り組んだ。</p> <p>①飼養衛生管理基準に基づく定期報告書の遵守(期限内の提出) ②搾乳衛生、伝染性乳房炎伝搬防止に対する意識啓発。 ③バルク乳検査でのSA陽性率のモニタリング。 ④大型哺育育成農家への従業員教育の実施(ゼミ等の勉強会)。 ⑤中小規模養豚農家への生産性向上支援 ⑥養鶏農場へのワクチンプログラム変更、鶏舎や敷料の消毒方法変更等の飼養衛生管理指導 ⑦高病原性鳥インフルエンザ発生時の危機管理体制の構築</p> <p>ウ 成果 イ①の事業では、定期報告書を期限内に全戸提出することができ、飼養衛生に対する農家意識の向上が徐々に高まっている。 イ④の事業では高度な従業員教育により、疾病の早期発見、治療が行われるようにな死廃率の低下に繋がった。よって、生産性の向上に大きく貢献できた。</p> <p>エ 課題 小規模農家によっては、飼養管理基準の遵守が守られていないものがあり、今後、重点的に指導を行う必要がある。 SA対策において、新たに陽性牛が摘発される農場や浄化出来ていない農家も相変わらずあるので、今後、SA陽性牛の早期発見、清浄化のため粘り強く事業を推進していく必要がある。</p>

事業名	概	要
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算(見込)額 3,578千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 658千円</p> <p>一般財源 2,920千円</p> <p>その他 0千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査と発生時のまん延防止措置を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 監視伝染病の摘発状況</p> <p>家畜伝染病(家畜伝染病予防法第2条) 発生なし</p> <p>届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条) 牛白血病(牛8頭)</p> <p>② 家畜伝染病予防法第5条による告示検査実施状況</p> <p><牛> ○ ブルセラ病: 236頭 ○ 結核病: 962頭 ○ ヨーネ病: 1,841頭</p> <p><馬> ○ 伝染性貧血: 185頭</p> <p><鶏> ○ ひな白痢病: 3,000羽 ○ マイコプラズマ病: 3,000羽 ○ ニューカッスル病: 3,000羽 ○ 高病原性鳥インフルエンザ: 450羽</p> <p><蜜蜂> ○ 腐蛆病: 281群</p> <p>③ 口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した、防疫演習(12月)、県境防疫検討会(9月)を実施した。</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>① 畜産農家に義務付けられた家畜伝染病に対する防疫対策への指導や、飼養衛生管理基準に関する学習会を実施した。</p> <p>② 口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの管内発生時対策についての打ち合わせを西部及び日野総合事務所と行った。</p> <p>③ 牛白血病のと場での摘発が相変わらず続いており、農場の衛生状況を的確に把握するために、疫学調査、抗体検査を継続して積極的に行った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>概ね計画数量どおりの検査実績であった。また、定期的な消毒等の衛生対策指導により、重大な家畜伝染病の発生はなかった。</p> <p>エ 課題</p> <p>① 牛白血病ウイルスの管内の浸潤状況が明らかになったことから、まん延防止対策についての検討及び衛生指導の強化を行う。また食肉衛生検査所と一層緊密に連携する必要がある。</p> <p>② 畜産農家に対して、飼養衛生管理基準の遵守を継続的に指導し、家畜伝染病の発生予防に努めていく必要がある。</p> <p>③ 口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した危機管理体制について、関係部局や市町村と一層連携を強め、動員・物品調達・作業分担等の確認と協議を進める必要がある。</p>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成25年 5月31日現在)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
農林水産業手数料	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	3	11,000	33,000	許可更新
	同上	同上	6	2,000	12,000	書換交付
	計(節)		9		45,000	
目計			9		45,000	
合計			9		45,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

(平成25年 5月31日現在)
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料		2	18,480	18,480	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	(社)鳥取県畜産推進機構、中国電力(株)米子営業所
	計(節)		2	18,480	18,480	0	0		
	目計			2	18,480	18,480	0	0	
合計			2	18,480	18,480	0	0		

(3) 手数料

(平成25年 5月31日現在)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
農 林 水 産 業 手 数 料	畜 産 業 手 数 料	家畜防疫手数料	93件	2,063,560	2,063,560	0	0	家畜伝染病予防法 鳥取県手数料徴収 条例	手数料収納業 務委託(大山 乳業農協)
		ブルセラ病	(236頭)	56,640	56,640	0	0		@ 240
		結核病	(962頭)	230,880	230,880	0	0		@ 240
		ヨーネ病検査(ELISA)	(1,841頭)	1,251,880	1,251,880	0	0		@ 680
		ヨーネ病検査(ヨーニン)	0	0	0	0	0		@ 100
		家きんカサネシ感染症 (ひな白痢)	(3,000羽)	129,000	129,000	0	0		@ 43
		マイコプラズマ病	(3,000羽)	129,000	129,000	0	0		@ 43
		腐蛆病	(281群)	16,860	16,860	0	0		@ 60
		馬伝染性貧血検査	(185頭)	240,500	240,500	0	0		@1,300
		検査証明(ブルセラ病)	0	0	0	0	0		@ 400
		検査証明(ヨーネ病)	0	0	0	0	0		@ 400
		馬伝染性貧血証明	(17件)	6,800	6,800	0	0		@ 400
		腐蛆病証明	(5件)	2,000	2,000	0	0		@ 400
		家畜保健衛生所手数料	22件	2,759,070	2,759,070	0	0	鳥取県家畜保健衛 生所の名称、位置 及び管轄区域等を 定める条例	
		オーエスキー病検査(ELISA)	(0頭)	0	0	0	0		@2,390
		オーエスキー病検査(ラテックス)	(2,870頭)	2,640,400	2,640,400	0	0		@ 920
		ブルセラ病	(20頭)	1,8400	1,8400	0	0		@ 920
		結核病	(20頭)	12,000	12,000	0	0		@ 600
		ヨーネ病検査(ELISA)	(16頭)	38,240	38,240	0	0		@2,390
		ヨーネ病検査(培養)	(1頭)	2,660	2,660	0	0		@2,660
		トリコモナス検査(培養)	(1頭)	1,010	1,010	0	0		@1,010
		カンピロバクター検査(培養)	(1頭)	2,660	2,660	0	0		@2,660
		牛ウイルス性下痢検査(PCR)	(16頭)	38,240	38,240	0	0		@2,390
		各種証明(ホル共・B&W)	(3件)	1,260	1,260	0	0		@ 420
各種証明(全共・装蹄師会)	(10件)	4,200	4,200	0	0		@ 420		
各種証明(無病証明書等)	(0件)	0	0	0	0		@ 420		
馬インフルエンザ検査証明	(0件)	0	0	0	0		@ 420		
合計		115件	4,822,630	4,822,630	0	0			

(4) 財産収入

(平成25年 5月31日現在)
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入		1	1,018	1,018	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	水道供給施設用地
目計			1	1,018	1,018	0	0		
合計			1	1,018	1,018	0	0		

(5) 諸収入

(平成25年 5月31日現在)
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	行政財産使用に係る電気代等	2	24,001	24,001	0	0	公有財産事務取扱要領	(社)鳥取県畜産推進機構
		業務集中局からの収入更正	1	12,461	12,461	0	0		非常勤職員の本人負担分雇用保険料
目計			3	36,462	36,462	0	0		
合計			3	36,462	36,462	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金の取扱状況

(平成25年 5月31日現在)
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
家畜防疫手数料	1,715,120	検査手数料 1,706,320 (ブルセラ病 56,640、結核病 230,880、ヨーネ病 1,161,440、馬伝染性貧血 240,500、腐そ病 16,860)、検査証明手数料 8,800
家畜保健衛生所手数料	6,330	検査手数料 6,330 (ヨーネ病 2,660、トリコモナス病 1,010、カンピロバクター症 2,660)
合計	1,721,450 (49件)	

イ つり銭の状況

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

- 7 -

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成25年 5月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支 出 先	負担率	支出年月日	支 出 金 額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備 考
(家畜保健衛生費)								
支出金額が10万円未 満のもの						13,000		黒坂地区安全運行 管理者協議会会則
目 計						13,000		
合 計						13,000		

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4) 委託料

(平成25年 5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金納付 等年月日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)								
(家畜保健衛生費)	単県	汚水処理槽内 汚泥処理業務	みつわ環境 開発株式会 社	493,500	(H24.7.2)	H24.7.2 ~ H24.9.28	H24.7.2	H24.8.27	精算	H24.9.11	303,660	
							(-)					
							随	H24.8.27				
予定価格が20万円 未満のもの										896,171		
目 計										1,199,831		
合 計										1,199,831		

13 工事請負費調べ

該当なし

1.4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成25年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	西部家畜保用衛生所用地	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	2,440.42	不明	増加	H				H	2,440.42	不明		
					減少	H				H				
	"	西伯郡伯耆町金屋谷1540-16	727.00	0	増加	H				H	727.00	0		溝口町(現伯耆町)の譲渡
					減少	H				H				
	"	西伯郡伯耆町金屋谷1540-18	0.16	不明	増加	H				H	0.16	不明		井戸用地の19.1%
					減少	H				H				
計			3,167.58	不明						3,167.58	不明			
普通財産	西部家畜保用衛生所用地	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	10.58	不明	増加	H				H	10.58	不明	水道供給施設用地貸付(伯耆町)	
					減少	H				H				
計			10.58	不明							10.58	不明		
合計			3,178.16	14,088,003							3,178.16	14,088,003		

イ 建物

(平成25年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)			
行政財産	西部家畜保用衛生所 解剖棟 倉庫棟 車庫棟	西伯郡伯耆町金屋谷1540-16,17	640.10	262,045,058	増加	H					H	640.10	262,045,058		
					減少	H					H				
					増加	H					H				96.00
					減少	H					H				
					増加	H					H				34.00
					減少	H					H				
					増加	H					H				90.00
減少	H					H									
計			860.10	262,045,058							860.10	262,045,058			
普通財産	該当なし				増加	H				H					
					減少	H				H					
合計			860.10	262,045,058							860.10	262,045,058			

ウ 山林
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成25年 5月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 25,230	円 137,000	円 109,960	円 52,270	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	4,200	4,200	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	25,230	141,200	114,160	52,270	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

(3) 債 権

(平成25年 5月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				本年度末		備 考
			増		減				
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	
財産貸付収入	円 3,054	1	円 0	0	円 1,018	0	円 2,036	1	H22.4.1 ~H27.3.31
行政財産使用料	42,000	1	0	0	10,500	0	31,500	1	H23.4.1 ~H28.3.31
合 計	45,054	2	0	0	11,518	0	33,536	2	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成25年 5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 氏 所 名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	給水管敷設	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	7.075㎡	H21.4.1	H17.3.24	H21.4.1~ H26.3.31	月額・年額 0	0	西伯郡伯耆町吉長37番地3 伯耆町長	減免申請の為
	電柱・支線	〃	各1本	〃	〃	〃	月額・年額 0	0	〃	〃
	電力供給施設設置	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	共架柱1本 支線3条 支線柱3本	H23.4.1	H12.8.3	H23.4.1~ H28.3.31	月額・年額 10,500	10,500	米子市加茂町2丁目51番地 中国電力株式会社米子営業所 所長	
計							10,500			
普通財産	水道供給施設用地	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	10.58㎡	H17.4.14	H17.4.14	H22.4.1~ H27.3.31	月額・年額 1,018	1,018	西伯郡伯耆町吉長37番地3 伯耆町長	
計							1,018			
合計								11,518		

イ 建物

(平成25年 5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 氏 所 名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	(社)鳥取県畜産推進機構の薬品保冷库設置場所	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	1.0㎡	H24.4.1	H21.4.1	H24.4.1~ H25.3.31	月額・年額 7,980	7,980	鳥取市東町1丁目220番地 (社)鳥取県畜産推進機構 会長	
計							7,980			
普通財産	該当なし						月額・年額	0		
計								0		
合計								7,980		

(2) 物 品
該当なし

16 借受不動産明細調べ
該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅
該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (m)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	12.5	0
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人	人			
4月	11人					11人	11人	0円	/	/
5月	11					11	11	0		
6月	11					11	11	0		
7月	11					11	11	0		
8月	11					11	11	0		
9月	11					11	11	0		
10月	11					11	11	0		
11月	11					11	11	0		
12月	11					11	11	0		
1月	11					11	11	0		
2月	11					11	11	0		
3月	12					12	12	0		
合計								0	0円	0円

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成25年5月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処 分				備 考
							売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売払額・ 処分費用	
焼却炉 (SD-2型)	1	H13.5.21	15年	円 16,275千	H24. 12.14	修理 不能	棄却	再利用不可 で解体処分	H25.1.4	円 0	
合 計	1			円 16,275千						円 0	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

22 事業別予算執行状況調べ

目名	畜産総務費	(平成25年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
職員人件費	(事業概要) 非常勤職員(獣医師)に係る報酬及び共済費	
畜産課管理運営費	(事業概要) 職員の職員人材開発センター主催研修ほか	

目名	家畜保健衛生費	(平成25年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜衛生対策事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜伝染病予防事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	(事業概要) 家畜保健衛生所の円滑な運営を図った。	

23 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成24年2月1日		前年同期		備考(増減)	
乳用牛	72戸	3,808頭	75戸	4,108頭	△3戸	△300頭
肉用牛	179戸	3,261頭	211戸	3,460頭	△32戸	△199頭
豚	12戸	42,385頭	14戸	52,890頭	△2戸	△10,505頭
採卵鶏	13戸	215,385羽	14戸	207,350羽	△1戸	8,035頭
ブロイラー	28戸	1,366,325羽	30戸	1,542,000羽	△2戸	△175,675羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成25年5月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜保健衛生所運営事業	種畜検査	検査	5月～1月	管内 一円	—	豚 38頭 牛 1頭	
	病性鑑定	検査	4月～3月	〃	—	頭・羽 1,987	乳用牛980頭、肉用牛220頭、豚6頭、鶏749羽、その他32
家畜衛生対策事業	流通飼料対策	収去検査	1月	〃	1戸 1検体	1戸 1検体	飼料中の肉骨粉検査
	家畜衛生関連情報整備対策		4月～3月	〃	12回	12回	
	診断予防技術向上対策	検査指導	4月～3月	〃	1戸 20頭	2戸 8頭	BVD-MD病検査
	動物用医薬品危機管理対策	検査指導	4月～9月	〃	5戸	5戸	キャンピロバクター検査
		収去検査	—	—	—	—	
		立入検査	2月～3月		全店 58店舗	全店58店舗	
	飼養衛生管理基準の確認、指導	調査指導	4月～3月	〃	牛 317戸 豚 14戸	牛 255戸 豚 12戸	
	乳房炎対策	検査指導	4月～3月	〃	77検体×2回	73検体×2回	S A、大腸菌検査
幼畜疾病対策	検査指導	4月～3月	〃	牛 5戸 豚 5戸	牛 5戸 豚 5戸	子牛、子豚の下痢症及び肺炎の低減	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病 予防事業	ブル病	検査	4月～3月	管内一円	400頭	236頭	告示検査 236頭
	結核病	"	"	"	1,615頭	962頭	告示検査 962頭
	マニ病	"	"	"	2,575頭	1,880頭	告示検査 1,841頭
	マニ病（清浄性）	"	"	"	50頭	0頭	
	牛伝染性疾病	"	"	"	12,000頭	12,560頭	
	豚伝染性疾病	"	"	"	52,000頭	55,100頭	
	鶏伝染性疾病	"	"	"	157,250羽	157,000羽	
	馬伝染性疾病	"	"	"	200頭	154頭	
	羊伝染性疾病	"	"	"	70頭	70頭	
	ひな白痢	"	"	"	3,000羽	3,000羽	告示検査 3,000羽
	マイコプラズマ病	"	"	"	3,000羽	3,000羽	告示検査 3,000羽
	ニューカッスル病（種鶏）	"	"	"	3,000羽	3,000羽	告示検査 3,000羽
	ニューカッスル病（その他）	"	"	"	1,350羽	1,380羽	
	馬伝染性貧血	"	"	"	170頭	185頭	告示検査 185頭
	腐蛆病	"	"	"	150群	281群	告示検査 281頭
	牛流行熱・バクテリウム病等抗体	"	6月～11月	"	96頭	80頭	
	オースキ病	"	4月～3月	"	810頭	633頭	
	PRRS抗体	"	"	"	340頭	347頭	
	PED・TGE	"	"	"	340頭	347頭	
	豚コレラ抗体	"	"	"	340頭	347頭	
	高病原性鳥インフルエンザ	"	"	"	450羽	450羽	告示検査 450羽
	牛白血病	"	"	"	500頭	572頭	
	牛サルモネラ症	"	"	"	100頭	1,378頭	
豚サルモネラ症	"	"	"	140頭	139頭		
鶏伝染性気管支炎	"	"	"	270羽	420羽		
鶏伝染性ファブリウス嚢病	"	"	"	270羽	410羽		
鶏サルモネラ症	"	"	"	44羽	77羽		

※告示検査（家畜伝染病予防法第5条）以外は全て同法第51条による立入検査。

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし